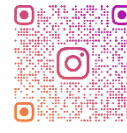


発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1

TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 [オイスカ西日本](#)



@OISCA_NTC

Instagram



facebook

日頃の様子を更新中!是非チェックお願いします!

令和8年度研修生入所式



4月25日、7カ国1地域からやってきた研修生たちの入所式が行われました。

会場には、初めての環境に少し緊張しながらも、これから始まる新しい挑戦に胸を膨らませる研修生たちの姿が見られました。

式典では、来賓の方々から「この一年が皆さんにとって大きな成長の機会になりますように」と温かい歓迎の言葉が贈られました。続いて、研修生を代表して東ティモール出身のノエさんがスピーチを行い、「ここで学べることに感謝し、仲間と協力しながら多くのことに挑戦したい」と、落ち着いた口調で前向きな抱負を語りました。

その後の懇親会では、各国のダンスや歌が披露され、また華やかな料理に会員の皆様の心とお腹も満たされたことと思います。最後は4代目バンザイの達人、マレーシア出身のクラウディアによるバンザイ三唱でお開きとなりました。



これから皆様にお世話になります。どこかで見かけた際は、ぜひ気軽に声をかけてください。国や文化の違いを超えて、互いに学びあえる素敵な一年になりそうです。

(立石)



2025年度研修生修了式・帰国



3月14日(土)、2025年度のオイスカ海外研修生研修修了式が、当センターにて盛大に開催されました。当日は130名程の参加者がお祝いに来ていただき、第一部の式典では、研修生を代表してフィジー研修生のアセリが感動的なスピーチを行い、会場は涙を流す方も多く、とても素晴らしい心に響く式典となりました。



第2部の懇親会では、研修生から帰国後のアクションプランの発表や、1年間の研修の思い出についてスライドを通して発表するなど、研修生のがんばりや将来への希望や思いなどを理解することが出来て、本当にたくましく成長したことを実感しました。

帰国する当日は、全員涙でのお別れとなりましたが、これからの彼らの活躍が本当に楽しみです。(豊田)

先輩研修生送別会



3月12日、帰国前の先輩研修生送別会&先輩研修生から西日本センターへのお礼のパーティを行いました。毎年先輩研修生それぞれのお国の料理を作ります。今年も、フィジー、マレーシア、カンボジア、インドネシア、スリランカ、インド、モンゴル、東ティモールとお国の自慢の料理を(日本の調味料、それぞれの国の調味料で)アレンジして作ってくれました。先輩研修生からスタッフにプレゼント、さよならの言葉、ダンス、歌を披露して最後は大きな円を作り炭坑節をみんなで踊りました。その中でもモンゴル研修生バイラが先生たちに自分で作ったポエムをプレゼントしてくれたのが感動でした。

(豊田早苗)

夢の使者 天もと大地に命を育むもの 空へと舞い上がる希望と夢の使者

大陸を超え平和の翼を広げる鶴 終わりになく続く幸せの象徴 桜海のただ中に静かに昇る太陽オイスカ OISCA
モンゴル研修生(バイラ)より

OB 紹介コーナー

今回紹介させていただくOB 研修生も今年1月にOB・OG 調査に行った時に会ったOBを紹介いたします。

現在、オイスカスカブミ研修センターで育苗ハウスの担当をしているシルベスターさんです。シルベスターさんは、2000年と2007年(OB 研修生)の2回にわたって西日本研修センターで研修を受けて、帰国後はスカブミ研修センターでスタッフとして今日まで活躍してきました。

彼は、花がとても大好きなとても優しい人で、研修生からはいつも慕われる存在です。

今年度の研修生の中にはシルベスターの長女も西日本に研修に来ており、親子でオイスカ活動がんばっています。これからもスカブミ研修センターの大事な柱として活躍してくれることを期待します。(豊田)



農業研修風景

今年の玉ねぎが数年ぶりに出来がよく、みんなで驚きながら収穫しています。

今まで出来が悪かった原因が何といても「べと病」というやっかいな病気のせいで、この病気がまん延すると、葉っぱが枯れて玉ねぎの玉の部分も表面が腐って商品になりません。

この「べと病」は、玉ねぎの産地に大打撃を与え、ここ数年の玉ねぎの価格が高騰した原因になってきました。

それではなぜ今回オイスカの玉ねぎが豊作だったのか、その理由はよくわかりませんが、対策として2月末に1回だけ殺菌剤の散布を行いました。

それでも有機質肥料100%で育てた玉ねぎは抜群に美味しいですよ。(豊田)



お米播種実習



苗床風景

体験農園だより

今年度から体験農園の担当になりました。最初は、畑の準備(畝立て、マルチ)をしました。

体験農園の畑にはトマト・ミニトマト、きゅうり、ニガウリ、スイカ、かぼちゃ、ニンジン、じゃがいも、インゲン豆、レタス、サニーレタス、里芋、ナス、ピーマン、トウモロコシといった沢山の種類の苗を植えました。

今は定植をしてあまり期間が経っていないので、まだまだ小さいです。これから、草と闘いながらニンジンの間引き、キュウリ・ニガウリのネット張り、トマトの誘引をしたりして、参加者の皆さんと一緒に管理していきます。

新鮮でおいしい OISCA 夏野菜を楽しみにしておいてください。(池田)



日本語の様子(2カ月の基礎研修修了!)

研修生は、3月28日をもって、2カ月の基礎研修を修了しました。

この期間は、毎日7時間、日本語を勉強する日も多く、最初のころは日本の生活や規律に慣れておらず、大変だったと思います。それでも、いっしょに研修する仲間の存在、スタッフをはじめ、農業ボランティアの方々、地域の方々の存在が力となり、全員、乗り越えることができました。

2カ月の後半は、日本語以外の勉強も多く行われました。

● 3月16日 防犯・交通安全教室

早良警察署の方をお呼びして、犯罪に巻き込まれないように、DVDを視聴して、実際の犯罪を学びました。

また、日本での交通ルールを学び、安全に自転車に乗れるように練習もしました。

この日から、休日の自転車での外出が可能になり、みんな喜びました。



● 3月19日 バス・地下鉄の乗り方

教室で、バスと地下鉄の乗り方を学び、実際に近くのショッピングモールまで、でかけました。



車中は静かにしましょうと、マナーを学びましたから、こちらが心配するほどみんなとても静かに乗車していました。

ショッピングモールでは、日本での初めてのファストフードに挑戦する研修生もいました。なんとか、注文できたそうです。



● 3月26日 書道体験

書道の先生をお呼びして、書道体験を行いました。基礎を習った後は、あらかじめ、先生が用意してくださった自

分の名前を漢字で書いたり、好きな言葉を書いたりしました。

教室に漂う墨汁の香り、みんなが集中して静かな教室、よい時間を過ごせました。



● 3月27日 福岡市博物館&防災センター

基礎研修修了式の前日、これから滞在する福岡市の歴史を勉強しようと、福岡市博物館を訪れました。土器の時代から、現代までが写真パネルや展示物で学べるのですが、ゆっくり見る人と早く見る人と別れました。

これから、多くの人に出会い、視察に行き、福岡のことも学んでくれることでしょう。

防災センターでは、火事の際のVR(仮想現実)体験や、煙の中を非常口に向かって脱出する体験、消火器の使い方を学びました。また、地震の際の震度体験も行い、机を握る手に力が入りました。万が一のいざというときに、学んだことが活かされるといいです。



● 3月28日 基礎研修修了式

約2カ月の基礎研修が修了し、修了式が行われました。農業ボランティアの方々も出席してください、民族衣装に身をまとった研修生たちは緊張した様子でした。所長から修了書をもってから、一人ひとり、日本語で趣味や好きなこと、日本で勉強したいことを発表しました。趣味がラップであるモンゴル研修生は、発表の最後に、日本のラップを披露しました(サプライズ!)。そのタイトルは「チーム友達」♪ 基礎研修を終えて、チーム友達となり、本研修である農業を学んでいくに、ふさわしい選曲でした。

この2カ月は、日本語はもとより、お互いを知る時間でもあったと思います。4月からも日本語の勉強は1週間に1回、続けていきます。まだまだこれからです。

がんばれ！研修生！ (立石考子)



センター避難訓練

3月24日、1年に1回のセンターの避難訓練が行われました。

毎年、お世話になっている寿防災の方に来ていただき、火事の怖さについてDVDを視聴して学びました。つぎに、火災報知器が鳴ったら、スタッフと研修生がどのような動きをするのかを確認しました。

その後、実際に火災報知機を鳴らし、各部屋からグランドへの避難の練習をしました。



避難後は、点呼をして無事を確認します。日頃の点呼が活かされる場面です。スタッフは実際に119番に電話をかける練習も行いました。



この訓練が、災害時に活かされることと思います。 (立石考子)

技能実習生一時帰国

技能実習制度において3年間の実習を修了した後、条件を満たしていれば更に2年の延長が可能になります。

その際、3年間の実習を修了後、一旦、母国へ1ヶ月以上の一時帰国が法律で義務付けられています。

今回、(株)オークマのアギ君、ビモ君、イクサン君。(株)九州住宅工業のトハ君がそれぞれ1ヶ月～3ヶ月の一時帰国をしています。3年ぶりのインドネシアを絶賛満喫中！日本に再入国する時は、ほとんどの実習生の身体と顔がふっくら…と言うより、帰国前に着ていた作業服がパツパツになるくらいガッツリBIGになって来ます。「せんせい！ボクの服が小さくなってます！」と言われた事があるのですが「服じゃなくて、あなたの身体がデカくなったんだよ！あなたは、今日から1人でラマダン(断食)して！」と言うしかない！！笑

巡回訪問や仕事がOFFの時に、実習生の様子を見に行くと、私に友達のように近寄って来て気軽に気さくに冗談を言って、何かしら笑わせてくれる実習生達です！

(株)九州住宅工業のトハ君は、約1ヶ月半の一時帰国をして4/30日本に再入国。

スマートな体型のまま帰ってきたトハ君に、思わず「エライっ！」と、私の心の声がダダ洩れ！

母国でリフレッシュして、また日本での実習！がんばれ～！(浦上)

技能実習生新規配属

4/30 (株)オークマに以下の2名の実習生が新規で配属されました。

VIQI RIWANA KHALIP (フィキ:インドネシア)

VAQIH ALBAR (ファキー:インドネシア)

豊田所長から「名前を採用したの？」と聞かれるくらいお笑いコンビや兄弟・双子を連想させる様な2人です。採用面接に関わった私ですら、どっちがフィキで、どっちかファキーなのか？分からなくなってしまう場面も多々…。あと1ヶ月すれば分かるようになることでしょう！笑

これから会社の方々や先輩達のサポートを貰いながら、頑張ってくれることと思います。

もうすぐ灼熱の夏が来て極寒の冬が来る！食べ物も文化もルールも全てが**初めての日本で頑張れ！**(浦上)



チューリップ畑見学

4月5日(日)に、内野地区にあるチューリップ畑でチューリップ祭りというイベントが開催されるため、その前日の土曜日にステージ設営の依頼があったので、研修生全員で設営に行ってきました。

いろいろな色が咲き誇ったチューリップ畑はとてもきれいで、研修生も楽しそうに写真撮影を行っていました。

帰る前にちょうどきれいな女性2名が写真撮影に来たので、うちの男性研修生は、チューリップよりもそっちの方ばかり見ていたので、「早く帰るよ」と女性研修生に言われながらしぶしぶ帰って行きました。(豊田)



トヨタモビリティパーツ新入社員研修



4月15日(水)筑紫野市にあるトヨタモビリティパーツ株式会社の新入社員16名が来所し、海外研修生との交流を中心とした社員研修会を実施しました。

日帰りでの研修でしたが、午前には海外研修生の国の紹介を行い、各国の料理を作りお昼ご飯として味わいました。午後は研修センターの裏にあるタケノコを収穫し、楽しく交流することができました。研修生初の国の紹介だったこともあり、貴重な体験ができたと思います。

終始笑い声や楽しい雰囲気があり、研修生にとっての成長に繋がったと思います。帰り際には名残惜しい雰囲気が漂っており、研修生だけでなくスタッフも良い経験ができたと思います。

来年のトヨタモビリティパーツ株式会社の新入社員研修もすごく楽しみになりました。(大鶴)

公益財団法人オイスカ西日本支部 第30回運営委員会

4月28日(火)オイスカ西日本支部運営委員会が九州電力で開催されました。

運営委員会には九州電力をはじめ福岡銀行、西部ガスHD、クラフティア、九州旅客鉄道、西日本鉄道、ふくや、石村萬盛堂の委員の皆様にご出席をいただき、令和7年度事業及び収支報告また令和8年度事業計画、予算をご審議いただきました。今年度も各企業皆様方のネットワークを通して、取り組みの更なる充実に向け事業を進めてまいります。

本運営委員会の議事をもとにオイスカ西日本支部幹事会を開催することになります。運営委員企業の皆様にはお忙しい中ご出席をいただきありがとうございました。(満川)



花見大会を行いました

3月28日センターグラウンドにて毎年恒例の桜の花見大会を行いました。



今年は廣瀬前所長とマルビン主任(マルビン氏は飛行機の時間の関係で残念ながら参加できず)のお別れ会も兼ねてのBBQとなったため、協山校区の方たちも大勢ご参加頂き例年以上の賑やかな会になりました。食堂チームも気合満々で準備させて頂き、皆さんご満足いただけたのではないかと思います。研修生、参加者などの歌や踊り楽しいひと時を過ごすことができました。カンボジア研修生ダサンはお風呂でも加山雄三などの歌を口ずさむくらい日本の演歌が大好きでもちろんBBQの時も披露しました。

モンゴルの研修生バリはラップが得意です。十人十色で今年の研修生も役者揃いです。廣瀬前所長もマルビン主任も異動になり西日本も寂しくなりますが、この研修生たちのパワーを感じながらこのセンターの美味しい空気を体いっぱい感じ、今年度も日々邁進していきたいと思えます。どうぞ、研修生たちに会いに西日本センターにお越しください。

(豊田早苗)

フリースクール玄海生徒海外研修に参加

学校法人塩浜学園フリースクール玄海(古賀市)生徒2名は4月13日よりフィリピンのオイスカバゴ研修センターで熱帯農業や英会話の勉強、養蚕飼育場の視察訪問をして、たくさんの人と交流を深めるなど海外研修を頑張っています。(満川)



英会話の授業

(左側:大川内さんと河田さん)



海を越えたつながりが、明日の人を育てる

NPO 法人 らいふステージ

オイスカ佐賀県推進協議会 常任幹事 中西一貴

私がオイスカと深くかかわるようになったのは、父の影響が大きなきっかけです。もともと私の父は、フィジーへの生活支援に強い関心を持っていました。そんな中で不思議なご縁が重なり、父はオイスカの活動をしることとなりました。

特に父の心を打ったのは、オイスカの「現場を大切にする姿勢」でした。単にお金や物を送るだけでなく、自分たちが直接現地へ足を運び、土に触れ、現地の人々と手を取り合って共に汗を流す。その泥臭くも温かい活動に深く共感した父は、まずは個人会員としてオイスカ佐賀県推進協議会に参加しました。その後、父の思いを受け継ぐ形で、現在は私が運営する NPO 法人「らいふステージ」が、法人会員となり活動に加わっています。

私自身も「ラブグリーンの翼」の活動を通じて、モンゴルやマレーシアのコタキナバルを訪れました。そこで行った植林活動や、OB や現地の子供たちとの交流は、言葉では言い表せない喜びを味わえました。現地の人々と同じ目線で活動し、社会や海外の役に立っているという確かな手応えを感じるたび、父が大切にしていた現場主義の尊さを実感しています。

オイスカの活動は、人の心を育てる活動だと確信しています。研修センターで学ぶ若者たちが、母国に帰ってからも希望を持って歩んでいけるよう、これからも力強い支援を続けてほしいと願っています。



マレーシア訪問時の中西様

私たちも一会員として、緑豊かな地球と人々の笑顔を守る歩みを共に進めてまいります。西日本研修センターが、これからも世界と日本をつなぐ温かい拠点であり続けることを、心から応援しています。



新所長挨拶

豊田 敏幸

今年度4月より、前所長の廣瀬の後任として所長という重責を担う事になりました豊田と申します。オイスカ歴は35年と長く、今日までひたすら研修生と共に農場で汗をかいてきました。

所長という立場を担っていくうえで不慣れな点が多く、ご迷惑をおかけする事があるかと思いますが、皆様方からご指導を仰ぎながら研修生と共に少しずつ成長していければと思いますので、今後とも宜しく願いいたします



西日本研修センター新スタッフ紹介

★大鶴 隼土★

今年の4月から西日本研修センターのスタッフとして働くことになりました大鶴隼土です。3月31日まで早良高校生でした。農業や社会経験もないに等しいですが、研修生と肩を並べて色んなことを学び、経験を積んでいきます。

苦手なトマトや虫、嫌いな野菜も好きになれるよう沢山働いて食べていきます！

【新規会員】(敬称略) 平井 正則、大川内 隆朗

ご協力ありがとうございます

5月・6月の予定

- | | |
|---------------------|--------------|
| 3日 博多どんたく西新舞台出演 | 5日 長崎県推協総会 |
| 12-15日 室町ケミカル社員研修 | 9日 アトリエ木下撮影会 |
| 16日 茶摘み大会 | 13日 脇山小田植え |
| 17日 ポッチャ大会 | 18日 佐賀県推協総会 |
| 29日 マレーシア OBOG 一行来所 | 20日 脇山歓迎茶話会 |
| 30日 こらぼらQ でん 田植え | |

【3月・4月の寄贈者】(敬称略)

- 森重知美、山田弓子
(株)岩田産業、ライオン(株)
フリースクール玄海、牧義文
大日向千秋、馬場雄治
ハートフィールド坂本、
シュクル(廣八堂)